



2022年9月13日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 エ イ チ ・ ア イ ・ エ ス
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長
最高執行責任者 矢田 素史
(コード番号 9603 東証プライム)
問 合 せ 先 執 行 役 員 有 田 浩 三
(TEL 050-1746-4188)

HISグループにおけるガバナンス改善進捗報告

当社は従来より、HISグループの持続的な成長と中長期的な企業価値の向上のため、子会社を含めた健全な経営に努めてまいりました。しかしながら、2021年12月に発覚した子会社によるGo To トラベル不正受給問題により、グループ内におけるコンプライアンス意識の欠如や、関係会社管理体制上の課題が露呈しました。HISグループのガバナンス体制を強化し、再発を防止すべく、2022年1月にお知らせした「Go To トラベル不正受給問題に関するガバナンス改善について」に沿って改善措置を実施しており、進捗報告を3月17日及び6月13日に行いました。このたび、9月13日時点での進捗を下記のとおりご報告いたします。

記

再発防止に向けた改善措置 (前回報告以降の進捗)

(1)コンプライアンス意識の改革

当社および主要な子会社の役員、社員を対象に実施した、コンプライアンス・リスク管理研修によりコンプライアンスに関する理解が深まっており、研修後のアンケートからは各自の意識が一層高まったことが見受けられました。今後は、様々なテーマに細分化した研修や定期的な意識調査を実施し、役員、社員のコンプライアンス意識を継続すると共に、各自の行動、実務への反映を促進してまいります。

(2)各社取締役会による監督機能の強化

各社取締役会の資料、議事録の収集、保管フローを見直すとともに、各社取締役会規程や付議事項の再確認を行いました。これより、11社と協議のうえ付議事項の見直しを行います。また、当社の監査等委員会を中心にグループ内監査役等連絡会を設置したことにより、監査機能向上のための情報交換を促進しております。



(3)親会社による子会社管理の強化

月次収集した主要子会社からの有事報告を、該当子会社の取締役である当社役員および執行役員へ共有し、各社の取締役会で報告される規模の案件以外にも早期に把握できる体制を整えました。リスク・コンプライアンス委員会にも報告し、顕在しているリスクに対して検証を行い、必要に応じて対策を講じております。

(4)内部監査の強化

改善策として掲げた助成金に関する監査の一環として、各社の雇用調整助成金申請の監査を実施しました。その他、地域割等の助成金申告についても順次監査を行っております。また引き続き、各種データ分析を活用したリスク抽出により監査の精度と効率を高めています。

(5)不祥事の早期発見のための取組み

内部通報制度の導入会社数を拡大すると同時に、内部通報の意義を周知するための研修動画を配信しました。その結果、「問題を黙認しない」という社員の意識が高まり、業務改善や労働環境に関するものなど様々な通報や相談が増加し、潜在リスクの検知に功を奏しました。

(6)その他の再発防止に向けた改善措置(IT統制について)

グループ全体のセキュリティ規準、システム開発・運用規準の整備にむけ、引き続き各社の管理状況や規定について調査し、必要に応じて改善を行っております。また、個々の情報セキュリティ意識向上のため、まず当社役員および執行役員に向けた研修を行いました。当社および一部子会社では情報セキュリティに関するeラーニングを行っており、実施していなかった子会社へも拡大しております。

当社グループのガバナンス改善に向けて、管理体制の強化とともに役員、社員へのコンプライアンス意識浸透に努めてまいりました。会社から社員へ指示、指導するだけでなく、社員の声を聴くことで実状を正しく把握でき、適切な改善を行うことが出来ております。社会から必要とされ続ける企業となるために、健全性を高め、信頼を損なう要因を排除し発生させない体制のもと、企業価値を高めてまいります。

以上